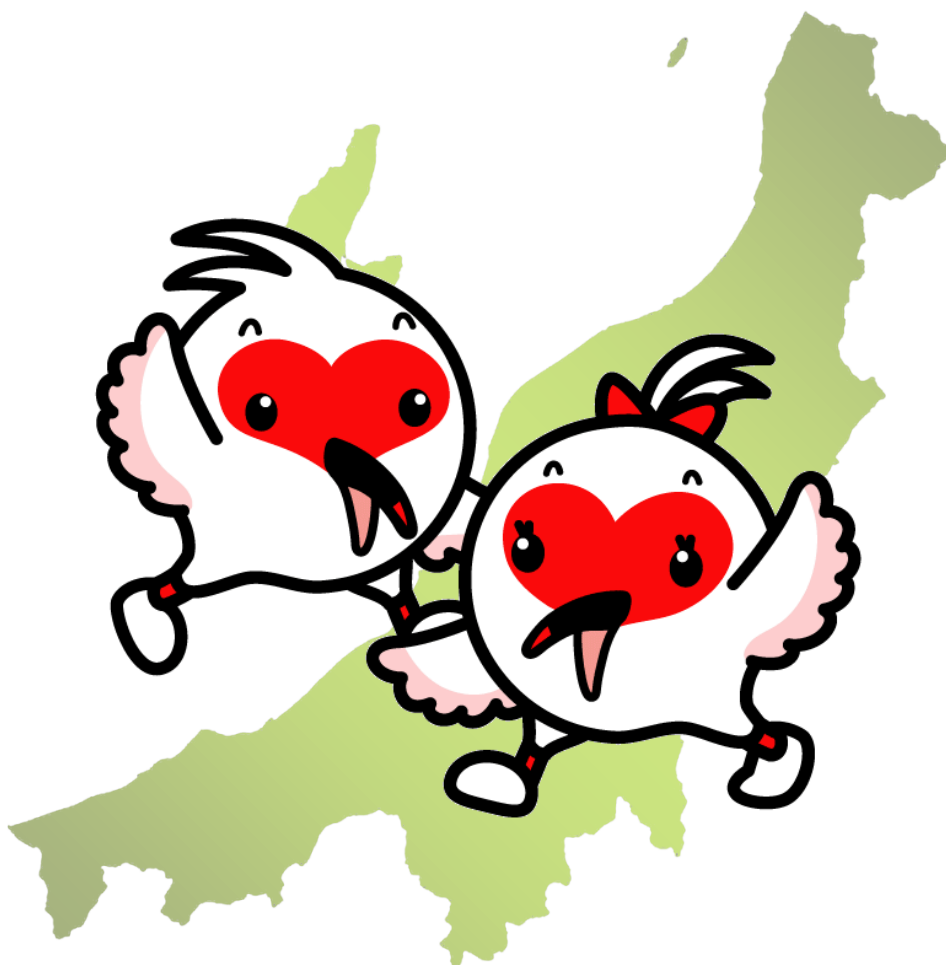


医療連携ノート（大腸）



病院名：済生会新潟病院

（連携F0071）20190301 地域医療連携室長 承認

医療連携ノートとは

手術などの治療を行った病院とかかりつけ医が協力して（医療連携）、専門的医療と総合的な診療を適切にバランスよく提供するために使用する患者さん用のノートです。安全で質の高い医療を切れ目なく提供するため、専門医が協力して、新潟県共通のものを作成しました。

★医療連携ノートの内容

- ①患者さんの病状、治療内容等の診療情報
- ②今後の診療予定表
- ③診療予定表に基づく受診日の診療記録

★医療連携ノートを使うことによる利点

- ①診療予定表により、「いつ」「どこで」「どんな」検査や診療を受ければよいか分かります。
- ②医療機関同士が患者さんの治療経過を共有できるので、より適切な診療が可能になります。
- ③かかりつけ医がもうひとりの主治医となるため、通院時間や待ち時間が短縮し、負担が軽減されます。ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。

緊急を要する場合で休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、済生会新潟病院・救急処置室（025-233-6161）までご連絡ください。

他の医療機関を受診する際にお持ちいただくと、医療連携ノートから病状や診療状況を把握することができ、迅速で適切な対応が可能になります。また、保険薬局にお持ちいただければ、より適切な服薬指導を受けることができます。



もくじ

- 🔔 退院後の日常生活 : p.3
- 🔔 退院後の食生活 : p.4
- 🔔 退院後もこれだけは忘れずに : p. 5～ p.6
- 🔔 大腸がん術後連携パス : p.7 ～ p.26
- 🔔 メモ : p.27 ～ p.28
- 🔔 済生会新潟病院の各部署のご案内
: p.29 ～ p.30

退院後の日常生活

手術後におこりやすい症状について

大腸を切り取ったために栄養吸収や食事摂取量の低下、それらに伴う体重減少などのトラブルはほとんどありません。しかし、術後1～2ヶ月で便が柔らかくなりすぎたり、逆に便秘気味になる場合がしばしばあります。

一方、直腸を切除した場合には、便をためる能力と便を押し出す能力が低下するため、排便の回数が増加したり、1回の便量が減少したり、残便感などの排便機能障害をきたします。

また、小腸や大腸の癒着（ゆちゃく）により、内容物の通過不良が生じ、腹部の膨満を感じたり、あるいはひどくなると腸閉塞（ちょうへいそく）となる場合があります。

これらの症状は、多くの場合食事療法や下剤や消化薬でコントロールすることができ、術後一定の期間がすぎると生じにくくなります。



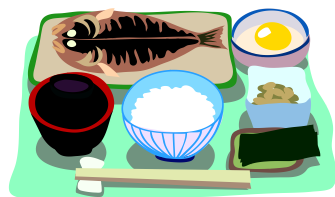
退院後の食生活



食生活に注意して

原則的には、食事の種類に制限はありません。つまり、何を食べてもかまいませんが、食物繊維が多く含まれているものや消化しにくいものは、腸閉塞の原因となることがありますので、術後3ヶ月は控えたほうがよいでしょう。

最も基本的なことは、おいしく、ゆっくり、楽しく、食べることです。次のことに留意して、規則正しく、バランスの良い食事を心がけましょう。また、ほどほどならアルコールを飲むことも可能です。



注意した方がよいおなかの症状について

便秘に対しては、水分や食物繊維を多くとり、生活のリズムを整え、適度な運動を行い、規則正しい食事と排便の習慣をつけましょう。食事・生活習慣に注意しても便秘が続く場合、下剤が必要となりますので、担当医に相談しましょう。

下痢の場合は、消化の良い食品をとり、水分を制限せずに、むしろ補いましょう。少量ずつの食事を、回数を増やすことで、消化管の負担を軽くしましょう。

頻便の場合は、生活のリズムを整え、食事時間を規則正しくしましょう。過労は禁物です。

腹部膨満感に対しては、1回の食事量を控えるように心がけましょう。それでも治らなければ、一度、食事をやめましょう。食事をやめても腹部膨満が続く、排ガスのない場合は腸閉塞が疑われます。担当医にすぐに相談しましょう。

退院後もこれだけは忘れずに！

🔔 定期的な診察や検査に行きましょう

術後5年を目処に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって違いますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、定期検査は大腸がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。



定期的な診察
や検査を

🔔 術後補助化学療法について

手術によりがんを切除できた場合でも、リンパ節転移があった場合に、再発率が高くなることが知られています。このような場合、手術を行った後に化学療法を行うことで、再発を予防するあるいは再発までの期間を延長できることがわかっています。このような治療を、術後補助化学療法といいます。一般には、術後補助化学療法の対象はリンパ節転移があるステージⅢ期の患者さんに対して、6ヶ月から1年程度の期間です。





指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、消化薬や化学療法剤で、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用しましょう。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。



悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく、希望を持って前向きな生活を送ってください。



大腸がん術後連携ノート(1～6ヶ月)

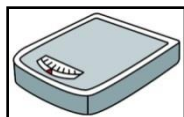
ID :
氏名 :

○:必須項目 △:必要時に行います

▲:補助化学療法施行時に実施

*あなたが手術を受けた日 平成 年 月 日			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
(術後) 受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			1ヶ月 月 日	2ヶ月 月 日	3ヶ月 月 日	4ヶ月 月 日	5ヶ月 月 日	6ヶ月 月 日
診察	問診	食欲			○			○
		腹部症状						
		排便						
		体重						
視触診	腹部理学所見							
	一般的内科的診察							
	直腸指診(直腸癌)						○	
採血	血算・生化学				○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査							△
投薬	一般薬				△			△
	補助化学療法薬				▲			▲
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						

気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



★定期受診日以外でも必要があれば受診

[illegible][illegible]

大腸がん術後連携ノート(7ヶ月～1年)

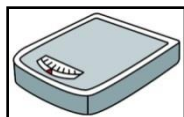
ID :
氏名 :

○：必須項目 △：必要時に行います

▲：補助化学療法施行時に実施

			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
(術後)			7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	1年
受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
		排便						
	体重				○			○
	視触診	腹部理学所見						
		一般的内科的診察						
		直腸指診（直腸癌）						○
採血	血算・生化学				○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○ CTが望ましい
	大腸内視鏡検査							○
投薬	一般薬				△			△
	補助化学療法薬				▲			▲
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						

気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

大腸がん術後連携ノート(1年1～6ヶ月)

ID :
氏名 :



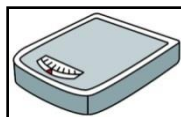
○：必須項目 △：必要時に行います



			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
			1年 1ヶ月	1年 2ヶ月	1年 3ヶ月	1年 4ヶ月	1年 5ヶ月	1年 6ヶ月
(術後) 受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
		排便						
	体重				○			○
	視触診	腹部理学所見						
		一般的内科的診察						
		直腸指診(直腸癌)						○
採血	血算・生化学				○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査							
投薬	一般薬				△			△
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



★定期受診は5年目まで
★定期受診日以外でも必要があれば受診

[illegible][illegible]

★大腸がん術後連携ノート(1年7ヶ月～2年)★

ID :
氏名 :

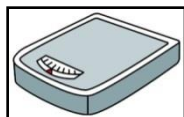


○：必須項目 △：必要時に行います



			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
(術後)			1年7ヶ月	1年8ヶ月	1年9ヶ月	1年10ヶ月	1年11ヶ月	2年
受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
		排便			○			○
	体重							
	視触診	腹部理学所見						
		一般的内科的診察						
		直腸指診(直腸癌)						○
採血	血算・生化学				○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○ CTが望ましい
	大腸内視鏡検査							△
投薬	一般薬				△			△
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						

気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

大腸がん術後連携ノート(2年1～6ヶ月)

ID :
氏名 :



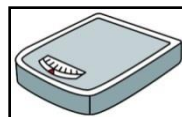
○：必須項目 △：必要時に行います



			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医
			2年1ヶ月	2年2ヶ月	2年3ヶ月	2年4ヶ月	2年5ヶ月	2年6ヶ月
(術後) 受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
		排便						
	体重				○			○
	視触診	腹部理学所見						
		一般的内科的診察						
		直腸指診（直腸癌）						○
採血	血算・生化学				○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査							
投薬	一般薬				△			△
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



★定期受診日以外でも必要があれば受診

[illegible][illegible]

大腸がん術後連携ノート(2年7ヶ月～3年)

ID :
氏名 :

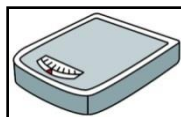


○：必須項目 △：必要時に行います



			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
(術後)			2年7ヶ月	2年8ヶ月	2年9ヶ月	2年10ヶ月	2年11ヶ月	3年
受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
		排便			○			○
	体重							
	視触診	腹部理学所見						
		一般的内科的診察						
		直腸指診(直腸癌)						○
採血	血算・生化学				○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○ CTが望ましい
	大腸内視鏡検査							○
投薬	一般薬				△			△
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						

気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



★定期受診日以外でも必要があれば受診

[illegible][illegible]

大腸がん術後連携ノート(3年1～6ヶ月)

ID : _____

氏名 : _____



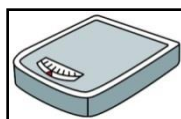
○：必須項目 △：必要時に行います

□：ステージⅢ大腸癌の際には実施



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医
(術後)			3年1ヶ月	3年2ヶ月	3年3ヶ月	3年4ヶ月	3年5ヶ月	3年6ヶ月
受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						○
		腹部症状						
		排便						
	視触診	体重						
		腹部理学所見						
一般的内科的診察								
採血	血算・生化学							○
	CEA・CA19-9							○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							□
	腹部超音波あるいはCT検査							□
	大腸内視鏡検査							
投薬	一般薬							△
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						

気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

This image shows a blank sheet of handwriting practice paper. It features a light beige background with a solid orange border. A vertical dashed blue line runs down the left side, creating a narrow margin. Six horizontal dashed blue lines are spaced evenly across the page, providing guides for letter height. The entire sheet is framed by a thick, dashed orange border.

かかりつけ医 → 病院

[illegible]

大腸がん術後連携ノート(3年7ヶ月～4年)

ID : _____

氏名 : _____

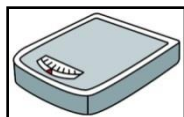


○：必須項目 △：必要時に行います

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
			3年7ヶ月	3年8ヶ月	3年9ヶ月	3年10ヶ月	3年11ヶ月	4年
(術後) 受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						○
		腹部症状						
		排便						
	体重							○
	視触診	腹部理学所見						
		一般的内科的診察						
		直腸指診（直腸癌）						○
採血	血算・生化学							○
	CEA・CA19-9							○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査							
投薬	一般薬							△
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

大腸がん術後連携ノート(4年1～6ヶ月)



ID : _____

氏名 : _____

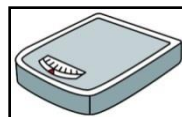
○：必須項目 △：必要時に行います

□：ステージⅢ大腸癌の際には実施

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医
(術後)			4年1ヶ月	4年2ヶ月	4年3ヶ月	4年4ヶ月	4年5ヶ月	4年6ヶ月
受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						○
		腹部症状						
		排便						
	視触診	体重						
		腹部理学所見						
一般的内科的診察								
採血	血算・生化学							○
	CEA・CA19-9							○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							□
	腹部超音波あるいはCT検査							□
	大腸内視鏡検査							
投薬	一般薬							△
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

大腸がん術後連携ノート(4年7ヶ月～5年)



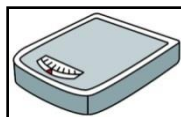
ID :
氏名 :

○：必須項目 △：必要時に行います

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
			4年 7ヶ月	4年 8ヶ月	4年 9ヶ月	4年 10ヶ月	4年 11ヶ月	5年
(術後) 受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						○
		腹部症状						
		排便						
	体重							○
	視触診	腹部理学所見						
		一般的内科的診察						
		直腸指診（直腸癌）						○
採血	血算・生化学							○
	CEA・CA19-9							○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査							△
投薬	一般薬							△
	補助化学療法薬							
自己 検診	腹部の チェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤 の 副作用の チェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

～メモ～

各部署のご案内

がん相談支援室

がんは国民の2人に1人がかかると言われ、長い闘病生活を余儀なくされる場合もあり、ご本人のみならずご家族にも大きな負担がかかります。

がん相談支援室では、在宅での療養生活やホスピスへの申し込み、セカンドオピニオン、高額な治療費などについて、がんに関する様々な問題に対して相談に応じております。

当院に受診している患者さんに限らず、地域に開放された相談窓口です。専任の医療ソーシャルワーカーが常勤しておりますので、どなたでもお気軽にご相談ください。

- ・ 相談受付：月～金曜日の8:30～17:00（休診日は除く）
- ・ 電 話：025-233-6161(代表)内線2221
025-201-2525(直通)
- ・ FAX : 025-201-2555(直通)
- ・ メールアドレス：ca-shien@ngt.saiseikai.or.jp
または、直接お越しください。

地域医療連携室

地域医療連携室では、地域の医療機関との医療連携（医療の協力体制）を進め、患者さんに安心して受診していただくため、地域医療機関の先生方と当院医師とのスムーズな連絡・連携窓口としての役割を果たしています。

- ・ 時 間：月～金曜日の8:30～17:00（休診日は除く）
- ・ 電 話：025-233-6161(代表)内線2061
025-233-6182(直通)

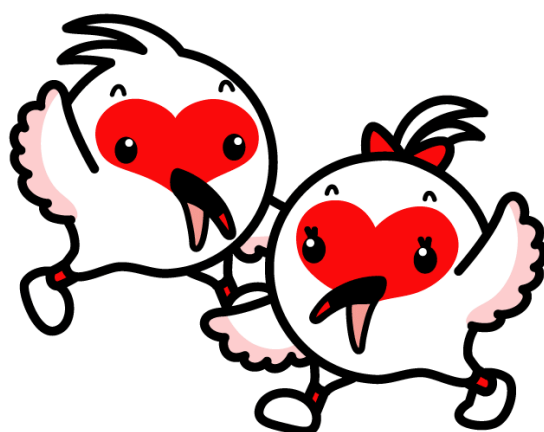


夜間・休日などの対応

緊急を要する場合で、休日や夜間等かかりつけ医を受診できないときは、当院の救急処置室までご連絡ください。

電話番号：025-233-6161





あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(電話

—

—

)

済生会新潟病院

(電話025-233-6161)

平成22年12月